

【2012年】

講演会・シンポジウムのお知らせ

「世界遺産 高句麗古墳を描く」展に伴い、関連講演会・シンポジウムを開催いたします。

I. 講演会：①【文化による世界交流】

②【再現高句麗古墳壁画～創造と再生】

- 江西大墓の現状と再現壁画について
- 戯作画技術紹介
- ギャラリートーク

- 講師： ①宮廻正明(東京藝術大学大学院教授)
②染谷香理(東京藝術学大学院非常勤講師)
狩俣公介(東京藝術学大学院非常勤講師)
文眞英(東京藝術大学社会連携センター教育研究助手)



□ 日時： 4月28日(土) 10時半～12時頃

□ 会場： 美術館2階

□ 参加費： 申し込み不要・聴講無料(ただし入館券が必要です)
※50名先着順です。席は自由ですのでお早めにおいでください。

□①要旨：世界には多くの民族があり、そこには多くの文化が存在する。ところが現在では、情報による交流が可能になり、その個性が薄まってきている。異なった言語や文化を持ちそれらを認め合いながら、「混ざらない文化」こそが最も重要な事だと思う。そこで、独自性を開花させてきた江戸文化に焦点を当て「混ざらない文化」について考えていきたい。独自の文化を世界に発信する事こそ、尊敬される日本のあり方ではないだろうか。

□②要旨：高句麗壁画は高松塚古墳との関連も指摘され、日本の文化のルーツを知る上でも非常に重要な壁画である。しかしながら文化財保存の立場と壁画という性質上、容易に公開することが難しい。そのため、東京芸術大学で取得した特許技術に、デジタル加工した写真資料を用い、通常の写真では感じることでできない質感をも再現した壁画を制作した。現在の壁画のおかれている状況と、壁画再現のための技術、その制作工程を紹介する。

II. シンポジウム (パネルディスカッション形式)

◆ 題目： 【文化財活用の最前線】

科学研究費補助金基盤研究B

「模倣と超越—美術における学習と創造—」

(課題番号：23320043)

◆ 主催： 東京藝術大学大学院 保存修復日本画研究室

◆ 日時： 4月28日(土)
13時半～15時頃

◆ 参加費： 申し込み不要・聴講無料
(ただし入館券が必要です)
※50名先着順です。

◆ 会場： 美術館2階

◇ パネリスト： 青柳 正規(国立西洋美術館館長)
有賀 祥隆(東京藝術大学大学院客員教授)
伊東 順二(富山大学教授)
北郷 悟(東京藝術大学副学長)
宮廻 正明(東京藝術大学大学院教授)

◇ 司 会： 荒井 経(東京藝術大学大学院准教授)

◇ ご予約・お問い合わせ先 ◇

平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6
Tel: 0551-32-0225 / Fax: 0551-32-0226